



写真1

榎台段丘

八中生、海岸段丘の謎にせまる

段丘地形は出来る場所によって大まかに3種類あります。河川の両岸にできる河岸段丘、海岸近くにできる海岸段丘、それに湖岸にできる湖岸段丘があります。八森中学校裏山にある糠森山頂からみると、眼下には海岸段丘が見事に広がっている様子が見られます。去る5月12日、八森中学校1年生が糠森山頂で写真1に見られるような風景をもとに段丘の形を知ったり、その出来方について考察したりするジオパーク学習を実施しました。あいにくの雨天で、糠森登山はあきらめましたが、計画を急ぎよ変更して小糠森付近から泊海岸方向の地形を観察し、学習の目的を果たしました。

生徒たちの感想とまとめの例

例1 藤田 夏澄さん

私は、普段から海と陸の境目や、遠くから見た陸の形などを意識したことはありませんでした。でも、ジオパーク学習をやって鹿の浦のあたりが段丘だということを知りました。海と陸の境目は、見る場所は同じでも位置が変わると形が変わって見えるのだな、と改めて思いました。ジグザグな

所や、まるで円を描くようなゆるやかなカーブがかかっている所など、いろんな海と陸の境目があるのだなと思いました。

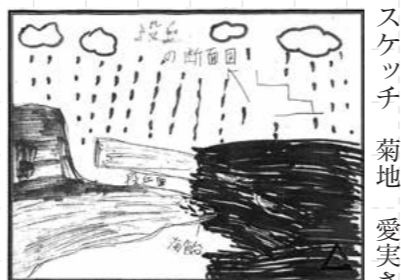
普段から意識して外を見ると段丘や面白い形の海と陸の境目が見つけられるんじゃないかなと思いました。

例2 山本 かれんさん

私はずっと八森は昔から同じ地形だと思っていました。しかし、ジオパークの授業で、昔から今までずっといろいろなお話を知りました。これからはもっと勉強して、未来が楽しみになってきます。

それと、ジオパークについて聞いたのですが、周辺にある山は、いつか噴火するのですか。もしも噴火してしまつたらとても大変だと思いました。また、ジオパークについて教えてください。よろしくお願ひします。

※ご質問にお答えします。100パーセント確実とはとても言えないのですが、この付近の山々は火山活動の兆候はありません。もし、噴火が起これば数百年後くらいになるでしょう。



スケッチ 菊地 愛実さん

段丘地形の各部位の名称がよく描かれています。このスケッチを見ながらよく考えてみると段丘面というのは古い時代の海食面であることにたどりつけますね。

八森中学校は段丘面に建っている

菊地さんのスケッチや糠森から見られる段丘地形から考えると、八森中学校の建っている場所は段丘面であることがわかります。この段丘には「榎台段丘」という名称がつけられています(写真1)。今から数万年前は海食台でした。

八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

八峰町八森三十釜一四四一

TEL ぶなっこランド内

018517713086



毎年5月26日は「県民防災の日」です。32年前の昭和58年5月26日、甚大な被害を及ぼした「日本海中部地震」を教訓に、町では消防署、消防団、地域住民が一体となって被害の軽減や防災意識の啓発のため、毎年防災訓練を行っています。今年も5月24日に岩館地区で実施。地域住民や消防団員、八峰消防署員など100名を超える方が参加して、避難訓練、火災防御訓練が行われました。

午前7時、日本海沖合でマグニチュード8.5の巨大地震が発生し、町で震度6弱を観測したことを想定し、防災無線により大津波警報を発令して避難を指示。岩館地区の住民は漁火の館などへ避難し、安否確認の訓練を行いました。

その後は、火災を想定した訓練も実施。住民が消火器で初期消火をした後、消防団、消防署が出動し、ポンプ車に機敏な動作でホースをつなぎ、放水訓練を行いました。

また、地域住民が消防署員から消火器の使い方の説明を受け、有事の際に慌てることがないように手順を確認しました。あわせて、ケガをして動けなくなった人の担ぎ方も説明を受けました。岩館以外の沿岸部の自治会では、東日本大震災を教訓に地域



住民と消防団による津波を想定した避難訓練を実施しました。防災訓練終了後には、田中ミ二公園で峰浜地区の消防団員による水防講習会を実施。堀川の堤防が一部決壊したことを想定し、積み土の工法の講習と実技を行いました。

八峰町防災訓練が行われました